

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2009-518812(P2009-518812A)

【公表日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2008-544382(P2008-544382)

【国際特許分類】

F 2 1 S	2/00	(2006.01)
G 0 3 B	21/14	(2006.01)
G 0 3 B	21/00	(2006.01)
F 2 1 V	5/00	(2006.01)
F 2 1 V	5/04	(2006.01)
F 2 1 Y	101/02	(2006.01)

【F I】

F 2 1 S	2/00	3 3 0
G 0 3 B	21/14	Z
G 0 3 B	21/00	D
F 2 1 V	5/00	3 2 0
F 2 1 V	5/04	2 0 0
F 2 1 S	2/00	3 1 1
F 2 1 Y	101:02	

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月11日(2009.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上の実質的にコリメートされた別個の光ビームを含む光を放射可能な光源と、前記放射光を受光し透過させるレンズレットアレイであって、前記放射光中の各別個の光ビームが、前記レンズレットアレイ内の複数のレンズレットの少なくとも一部をカバーする、前記レンズレットアレイにおける強度半値全幅(FWHM)を有するようにしたレンズレットアレイと、

入射面からの前記透過光を受光し、前記受光光を均質化し、前記均質化された光を出射面から出射する光学素子と、を備える光学システム。

【請求項2】

光学システムは光軸を有し、前記レンズレットアレイを前記光軸に対して垂直方向に、前記レンズレットアレイ内のレンズレットの外径の1/2だけ変位させた場合、前記均質化された光の均一性の変化が5%未満である請求項1に記載の光学システム。

【請求項3】

実質的にコリメートされた光ビームを放射可能な1つ以上の光源と、実質的にコリメートされた各光ビームを受光し拡大するためのレンズレットアレイと、前記レンズレットアレイによって拡大された光を均質化するための光学ホモジナイザとを備え、

レンズレットの外径に対する、放射され、実質的にコリメートされた各光ビームの前記

レンズレットアレイにおける強度半値全幅（ F W H M ）の比が、少なくとも 1 . 0 5 である光学システム。